

案件概要書

2023 年 12 月 19 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ブルキナファソ
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ワガドゥグ市（約 292 万人（2021 年））
- (3) 案件名：灌漑改修及び維持管理強化計画
(The Project for the Improvement of Equipment for Irrigation Rehabilitation and Maintenance)
- (4) 計画の要約：
本計画は、ワガドゥグ機材整備場の改修及び灌漑改修並びに維持管理機材の整備を行うことにより、灌漑区の改修及び維持管理の実施体制の強化を図り、もってブルキナファソの農業開発に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義
ブルキナファソはサヘル地域の中心に位置し、地域の安定に重要な役割を果たしている。アフリカの平和と安定を支援する日本として同国の安定を下支えし、二国間の関係を強化することは重要である。同国は、日本にとって第 2 位のゴマの輸入元であることに加え、アフリカ最大規模の綿花の産出国でもあり、これら農作物及び金、マンガン等の鉱物資源の供給源として潜在性を有している。
我が国の対ブルキナファソ国別開発協力方針における重点分野の一つとして、農業開発を掲げており、本事業を通じてワガドゥグ機材整備場を改修及び灌漑改修・維持管理機材を整備し、灌漑区の改修及び維持管理の実施体制の強化を図ることで、同国の農業開発に寄与することが期待される。
我が国は第 8 回アフリカ開発会議（TICAD 8）において、アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）を通じた 2030 年までのコメ生産量倍増を表明しており、本事業は同コミットメントの達成にも貢献するものである。本事業は、灌漑区の改修及び維持管理の実施体制の強化を通じて、同国の農業開発に寄与するものであり、SDGs ゴール 1「あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる」、及び 2「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養を実現し、持続可能な農業を促進する」に貢献する。
- (2) 当該国における農業セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け
ブルキナファソの農業セクターは、GDP の 20%を占め、就労人口の 70%以上が従事する基幹産業である（世銀、2022）。同国の貧困人口は 30%に達し、その多くは農村地域に居住して農業を主な収入源としているため、食料安全保障や貧困削減の観点からも重要なセクターである（世銀、2018）。近年治安悪化に伴い、国内避難民が約 200 万人を超え、生活困窮者が急増しており、水や食料の奪い合いや職のない若者等の武装組織への傾倒が懸念され、平和と安定には、食料の安定生産及び若年層の雇用

創出や社会統合が喫緊の課題である。

同国では小規模な灌漑農業及び不安定な降雨に依存した天水農業が中心であり、深刻化する水不足や気候変動に対して非常に脆弱である。同国政府は食糧危機や気候変動に対するレジリエンス強化のため、1970年代から灌漑区を整備してきたが、灌漑設備の老朽化や損傷が著しく、十分に機能していない。農業省は2つの機材整備場を持つが、機材が不足し、稼働中のボボジュラソ整備場のみでは必要な工事に対応できていない。また、灌漑施設情報が整備されず、実態に基づいた灌漑計画の策定及び計画的な改修が困難である。

同国政府は国家開発計画「第二次国家経済社会開発計画（PNDESII）2021-2025」において、基幹産業として農業振興に注力しており、灌漑及び水管理の強化を最重要視し、灌漑農業の割合を農業生産の25%に高めるとしている。加えて、国家稲作振興計画（2021-2030）において、2030年までに年間米生産300万トン（45万トン、2020年）、自給率100%（44%、2020年）、新規雇用42万人の達成を目指しており、JICAはアフリカ稲作振興のための共同体（CARD）イニシアティブ、農業政策アドバイザー派遣、技術協力プロジェクトを通じて、上課題に対応すべく灌漑区の診断及び改修・維持管理計画の策定にかかる能力強化を進めている。

「灌漑改修・維持管理強化計画」（以下、「本計画」という。）は、非稼働のワガドゥグ機材整備場の改修及び灌漑改修・維持管理機材の整備により、灌漑区の改修及び維持管理体制強化を図るものであり、同国開発計画に合致した優先度の高い計画として位置づけられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】ワガドゥグ機材整備場の改修（機材室、メカニック室、機材保管室等）、公道へ至る道路の舗装（約800m）

【機材】灌漑設備・溜池改修用機材（ダンプトラック、散水車等）灌漑施設診断調査・改修用機材（水位観測計、地形測量ロボット、ドローン、測量機等）、修理・維持管理用機材（工作機械類、回収車、工具類）

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施行・調達監理、機材の活用・維持方法、整備場の運営指導。

② 期待される開発効果

整備された機材による灌漑区面積の増加等により、農家約12万人の農業生産活動の強化への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制

農業省農畜産総局（DGPA）、農畜産機械化・資材局（DIMAP）、農畜産施設・灌漑開発総局（DGADI）

④ 他機関との連携・役割分担

世界銀行（WB）やイスラム開発銀行（IsDB）が灌漑開発及び管理における組織能力強化やコミュニティ主導の灌漑管理強化に取り組んでおり、灌漑設備の長寿命化に向けた維持管理において連携する。

⑤ 運営／維持管理体制

DGADI が整備場及び機材の活用計画を策定し、DIMAP が維持管理・運営を担う。交換部品等の調達経路及び維持管理予算は協力準備調査にて確認。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- ガーナ無償資金協力「基礎教育機会改善計画」（評価年度 2019 年）では、現地企業活用型実施にあたり、現地企業の財務能力の見極めに関し、書類提出に加え、技術審査時に対象現地企業者が実際手掛けた直近の現場確認を行うことの重要性を言及している。本計画においても、サイト訪問等事前調査を行い、現地企業の技術的・財務的能力を判断する。

以 上

[別添資料] ブルキナファソ 灌漑改修及び維持管理強化計画 地図

[別添資料] ブルキナファソ 灌漑改修及び維持管理強化計画 写真

[別添資料] ブルキナファソ 灌漑改修及び維持管理強化計画 地図



出典：United Nations (<https://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/burkina.pdf>)



出典：ブルキナファソ国土地理院の地図を基にワガドゥグ市が作成 ([Plan de la ville - Mairie de Ouagadougou Burkina Faso \(mairie-ouaga.bf\)](http://Plan%20de%20la%20ville%20-%20Mairie%20de%20Ouagadougou%20Burkina%20Faso%20(mairie-ouaga.bf)))

〔別添資料〕ブルキナファソ 灌漑改修及び維持管理強化計画 写真

写真「ワガドゥグ整備場」



機材・交換部品等置き場



機材修理場